

野外芸術文化ゾーン 計画について

質問 会派だよりでの市民意向調査はアンケート調査に値しないということで、改めて、有権者名簿から市民三千人を無作為に抽出し往復はがきで回答を求めた。

回答 率は、約三十一%で、その結果、この計画を進めるべきと答えた人が十九・六%、やめるべきと答えた人が五七・〇%等であった。今回のアンケートは、その方法や設問、やり方などからアンケート調査に値すると思うが、どのように受け止めているか伺いたい。

また、この結果に対する見解を伺いたい。

答弁 アンケートであることは確かであるが、少し疑義をもっている。それは、世論調査の場合、知っている人のみ賛否を質問するのが原則なわけで、本計画を知らない人にも賛否を問いかけるのは、世論調査の方法とは異なるのではないか。また、計画認知度別の集計がないと、統計的に判断できないと考える。

結果については、こうしたたぐいの事業には当然いろいろの意見があると思っ

ているし、一つの意見として受け止めている。また、この計画を知らないという回答が多かった点については、謙虚に受け止め、今後とも広報等で積極的にPRすべきと感じている。



築30年になる相撲場

質問 野外芸術文化ゾーン計画は、将来に大きな市民負担を残すだけになるのではないかと思うが、どのように考えるか伺いたい。

答弁 地方を取り巻く状況は確かに厳しいものがあるが、こうした状況にただ手をこまねいて見ているだけでは地域の発展は望めないと考えます。今は、地方が真の自立・進化を問われる大事な時期であると強く認識しており、これから地方が取り組まなければならない

ものは、固有の地域資源を活用し、独自性を持った地域の活力を発揮することで魅力ある地域づくりを進めることであると考える。

中央公園内のスポーツ施設について

質問 中央公園内の運動施設、野球場、相撲場、陸上競技場、テニスコート等があるが、これらの施設の保守点検の状況と相撲場つり屋根の耐震性と安全性に問題はなにか伺いたい。

答弁 施設の保守点検については、野球場の消防設備点検は専門業者に委託して行っており、それ以外は職員等が随時各施設を巡回して安全確認をしている。

相撲場のつり屋根は、昭和五十年に竣工しており、完成時のつり屋根は、電動により上げ下げできるようなワイヤーでつり支えるものであったが、完成後、すり鉢状という構造的なこと、それと風が通りやすい立地条件にあることから、つり上げ部分が強風時に大きく揺れ動いたため、完成後まもなく揺れ止めとして現在の太い鉄柱に改修している。当時の工事施工関係者から

十分に支えることができると聞いている。

また、毎年、選抜高校相撲大会前につり屋根の清掃をしており、その際、フックあるいは鉄柱をつなぐボルトの状態、屋根全体の腐食状態などをチェックしている。

耐震診断については、現段階では実施していない。

不登校の児童生徒について

質問 児童生徒の不登校の過去三年間の件数と、不登校児童への対応・対策を伺いたい。

答弁 平成十四年度は小学校八名、中学校六十五名、十五年度は小学校三名、中学校六十四名、十六年度は小学校八名、中学校五十三名となっており、児童生徒数、発生率とも年々減少傾向にある。

対策については、教育相談員を市内全中学校と小学校四校に配置したり、教育相談室や適応指導教室を設置するなど実施してきた。特に適応指導教室においては、児童生徒の実態に応じた指導をしており、勉強や運動のほかキャンプ等の野外体験活動も行い、児童生

徒の復帰を目指している。

また、各学校においては日常的に出席状況の把握や学級担任や複数の教諭による教育相談等を実施している。なお、不登校児童に対しては、学年会議や相談員、スクールカウンセラー、養護教諭等を交えた校内不登校対策委員会で児童生徒の生活状況の把握や対応策の検討、定期的な電話相談や家庭訪問、時間外登校や別室登校など、その生徒の状況に対応した指導を行っている。



休日の市民体育センター前

公共施設の予約について

質問 公民館、市民文化センター、体育センターなど市の施設について、インターネット等で、利用状況の確認や予約ができるように

する考えはないか伺いたい。

答弁 インターネットの活用は、IT化が進む今日大変大切なことだと考える。今後もインターネットを活用した事務の効率化、市民サービスの向上に努めていきたいと考えており、公共施設の予約等についても、財政事情、事業効率等を勘案して、システムの安全性、内容を十分研究していきたい。

民生福祉

戦没者追悼式について

質問 旧十和田市では、戦没者追悼式を平成十六年、十七年は屋内で行っているが、殉国慰霊の塔のある場所で行うべきではないか。

答弁 遺族会と協議し、天候や来られる方の高齢化など参列者の利便を考え、追悼式は屋内で挙行している。今後、開催場所を含め、その運営方法について、遺族会及び関係者の意見を十分拝聴したうえで、適切な方法を検討していきたい。

